

言語科学研究科 NEWS

<http://www2.kuis.ac.jp/graduate/gradnews.html>

修士課程入試問題

ダイジェスト版をHP上で公開しています。

http://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/entrance/graduate_03.html

また、希望者には、博士前期(修士)課程入学試験問題集を配布します。

大学院受験準備

勉強方法や参考書を紹介しています。

<http://www2.kuis.ac.jp/graduate/books.html>

学費 (2014年度実績)

【初年度】

入学金 250,000円 授業料 890,000円 施設設備費 230,000円
合計 1,370,000円

※2年目学費は入学金を除いた1,120,000円

給付型奨学金

①一般社団法人尚友倶楽部奨学金

本大学院が推薦する博士前期課程在籍の成績優秀者に対して、年間最大50万円の奨学金が給付されます。(他の奨学金との並行受給可)

②文部科学省学習奨励金(留学生対象)

本大学院が推薦する成績優秀者に対して、年間78万円の奨学金が給付されます。(他の奨学金との並行受給可)

③ロータリー米山奨学金(留学生対象)

博士前期課程2年次在籍者で同財団が選考し合格した者に対し、月額14万円の奨学金が給付されます。

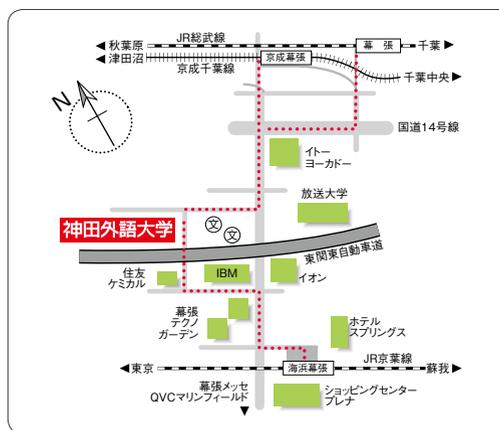
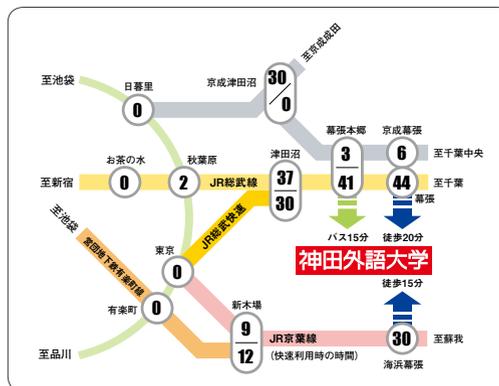
④小貫奨学金(留学生対象)

同財団が選考し合格した者に対し、月額3万円の奨学金が給付されます。(他の奨学金との並行受給可)

Access

<http://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/access/>

- JR京葉線「海浜幕張」駅下車徒歩約15分 バス(幕22系統)北口3番利用約5分
- JR総武線「幕張」駅下車徒歩約20分
- JR総武線「幕張本郷」駅下車 バス(幕21系統南口)6番利用約15分、バス(幕22系統)約8分
- 京成電鉄「京成幕張」駅下車徒歩約15分



NEWS

修士課程・英語学専攻は、東京キャンパスを開設し、英語教育(TESOL)に特化したTESOL学位プログラムを開講しています。

詳細は http://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/subject/grad/language/e_tesol/jp/ でご確認ください。



神田外語大学大学院

〒261-0014 千葉県美浜区若葉1-4-1
TEL.043-273-1320 FAX.043-273-1197
<http://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/grad/>
E mail prunit@ml.kuis.ac.jp(大学院入試係)



KANDA UNIVERSITY OF INTERNATIONAL STUDIES Graduate School of Language Sciences

神田外語大学 大学院

言語科学研究科

日本語学専攻 言語科学専攻



Specialist of language

ことばのスペシャリストをめざせる大学院

ボーダレス、グローバル化した21世紀
ことばのスペシャリストが求められています

神田外語大学大学院 言語科学研究科とは

日本語学と英語学、各専攻の博士前期課程(修士課程)と言語科学専攻の博士後期課程からなり、言語のメカニズムを科学的に解き明かすとともに、英語・日本語の習得と教育にかかわる高度な研究を実践。両専攻とも多彩な科目群を用意し、関連領域を横断的に研究することで、言語の体系、教育、コミュニケーション等についての総合的な分析・理解ができる「ことばのスペシャリスト」を養成します。



MESSAGE

日本語を軸に学際的な研究を实践

世界にはいろいろな言語があり、それぞれに異なる特徴を持ちながらも、根本的な部分では共通性と普遍性を帯びています。言語のその特殊性と普遍性を多角的に捉えるのが、言語科学という学問です。多様な言語と接触する機会が増えたグローバル社会では、言語に関する深い知見を有する人材が活躍する場が拡大しています。また、言語はコミュニケーションの手段であるだけでなく、私たちが思考をするためのツールでもあります。人類の過去の知識の蓄積も言葉が担っており、言語を考察するという事は、とりもなおさず人間とは何か、社会とは何かを考えることにもつながるでしょう。

本大学院の日本語学専攻・言語科学専攻は単なる一言語の研究の枠にとどまらず、他言語との比較対照やコミュニケーション理論、言語教育をはじめとする多様な領域にアプローチします。今後、日本文化に関する科目群を拡充する計画もあります。日本語という言語を土台に、幅広い視野を備えた「ことばのスペシャリスト」をめざしてください。

言語科学研究科長 教授
木川 行央



学びの特色

修士課程 ● 日本語学専攻

興味に応じて学べる2コース

日本語学専攻には次の2コースが設けられ、日本語や日本語教育に関連する各分野に、より高度な専門性をもってアプローチすることが可能です。

■ 日本語学コース

日本語学コースの一つの柱は、今日の言語理論の研究成果を踏まえ、日本語の構造的性質を明らかにし、日本語の個性から言語の普遍性を解明していくことです。もう一つの柱は、方言をはじめとする変容・多様性に関する研究です。日本語の理論的追究と実態研究が相互補完的に行われ、バランスの取れた日本語研究を行うことができます。

■ 日本語教育学コース

日本語の教育に関する専門的な知識と技能を身につけ、国内外の日本語教育関連分野で専門家として活躍できる人材を育成します。理論面では、日本語の習得と使用にかかわるさまざまな要因を解明し、効果的な言語習得を促す教育のあり方を探求。実践面では、学習者のニーズや環境的制約に対応できる創造的な応用力を開発します。また、教育的な観点から言語を分析する力を育成します。

博士課程 ● 言語科学専攻

言語研究と言語教育の分野で、先導的、指導的役割を果たすことのできる学際的研究者を養成します。理論実証のための実験、資料の収集や分析だけでなく、理論の開拓や応用分野の開発ができるような分析力や創造力を養います。

■ アドミッションポリシー

本研究科では次のような人材を求めています。

- 言語研究と言語教育の分野で多角的な研究を行ない研究者・専門家をめざす人
- 高度専門職業人として創造性と実践力のある英語・日本語教育のスペシャリストを志向する人
- 言語のエキスパートとして、広い視点に立って言語・言語教育の研究に意欲を持つ人

● 修了要件は選択制

修士課程を修了するには、次の二つの方法があります。修士課程の修了者には「修士(文学)」の学位が授与されます。

- ① 32 単位 + 修士論文
- ② 40 単位 + 修士研究報告

①はより専門性を高めることができ、②はより広く学ぶことができます。どちらも同じ修士号です。

● 日本語教育教員養成プログラム修了証

コースにかかわらず、要件を満たせば日本語教育教員養成プログラム修了証が与えられます。

● 科目等履修生と研究生

科目等履修生とは、修士課程に在籍せずに、科目だけの履修により単位の修得ができる制度です。正規の学生と一緒に受講し、同等に評価されます。

また、修士号を既に取得している人で、特定の研究課題について研究指導を受けたい人には研究生の制度があります。

● 専門性を生かした進路

本学大学院は1992年に設置されて以来、200名以上が修士号を、11名が博士号を取得しました。修了者は、国内外の大学や日本語学校などの教育研究機関で、研究者としてまた教員として活躍しています。本大学院の修了者には神田外語大学の協定校での日本語教育の道も開かれています。さらに一般企業で専門性を生かして活躍をしている人も多くいます。



■ 研究指導担当教員

木川 行央
教授
日本語学・方言学

長谷川 信子
教授
言語学・英語学

堀場 裕紀江
教授
日本語教育学

遠藤 喜雄
教授
言語学・英語学

岩本 遠億
教授
言語学・日本語学

■ 科目担当講師

井上 優
講師
日本語学

細谷 早里
講師
異文化間教育

■ 科目担当教員

青木 ひろみ
教授
日本語教育

Sau Kuen Fan
教授
社会言語学

江藤 一郎
教授
スペイン語学

浜之上 幸
教授
韓国語学

土田 宏成
准教授
日本近代史



最近の修士論文

「日本語学習者における動議づけと聴解ストラテジー、聴解能力との関連について」「プレタスクにおける使用言語(L1・L2)がL2発話に与える影響」「日本語学習者の外来語の習得」「タイ人日本語教師のピリーフの特徴」「『のだ』と『んだ』- 談話管理理論の視点から -」「アスペクトとテキスト解釈 - 限界性・クオリア構造・因果関係の果たす役割 -」「日本語の脱形容詞動詞のアスペクトについて」「現代小説の会話文にみられる女性語」

最近の博士論文

「第二言語読解における語彙推測」「日本語後置文の機能と構造」「ガ格及びノ格名詞句の位置と認可の方法」「アスペクト転換と統語構造」

■ 神田外語大学大学院(千葉キャンパス)7つの特色

- ① 少人数授業と的確な研究指導
- ② 言語に関わる多彩な科目群と研究分野間の活発な交流
- ③ 高度な理論を基礎とする言語学、言語教育学の研究と実践
- ④ 普遍性と個別性、両面からの問題解決力の育成
- ⑤ 実践経験がつめるティーチングアシスタント制度
- ⑥ 入学時から担任教員がきめ細かく指導
- ⑦ 社会人、日本語教員、外国人留学生に対する各種入試制度

■ 大学院施設



大学院生専用研究室
および個人用キャレル



大学院生専用コンピュータ室



大学院図書資料室

● 授業科目一覧(修士課程)

共通科目群		
●言語科学研究	●統計処理法	●言語科学演習
●修士研究		
言語研究科目群		
●日英対照言語研究	●言語習得研究	●言語学特論
●日本語学研究(音声・音韻)	●日本語学研究(統語・語彙・意味)	
●日本語学研究(方言・日本語史)	●日中対照言語研究	
●日韓対照言語研究(院)	●日西対照言語研究	●言語学概論
言語教育研究科目群		
●応用言語学研究	●第二言語習得研究(院)	●評価法研究
●日本語教育学研究	●日本語教育文法研究	●日本語教育教材研究
●言語教育学特論	●日本語教育実習 A・B	
コミュニケーション言語文化研究科目群		
●異文化コミュニケーション研究	●日本研究	●言語文化研究
●比較文化論	●比較文学研究	●談話分析研究
●社会言語学研究		

TOPICS

国内・海外での教育実習

本学の附置機関である留学生別科において、別科担当教員の指導のもと、長期の日本語教育実習を受けることができます。海外インターンシップ制度も設けられ、年度により、日本語教師として約3週間の実習を受けることができます。

ティーチングアシスタント

優秀な大学院生に対し、学部学生等に対するチュータリング(助言)や実験、演習等の教育補助業務が与えられ、一定の手当て(上限24万円/年)が支給されます。